

三條別院のご案内

真宗大谷派三條別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

三條別院に想う

蒲原平野の真ん中で、車を止めて降りてみる
ことがあります。見渡す限りの田圃で、風が吹
くと、緑の大きなうねりが押し寄せてきます。
美しく、壮大な風景です。この中に立つと、先
人達の圧倒されるような思いと、受け継がれな
ければならない願いを強く感じます。

御門徒のお爺さんが話してくれました。「春の
田起こしの時は、氷の張った田んぼに素足で入
ったもんだ。」今の私達には想像もつかないよう
な御苦労を支えて下さったのが、お念仏であつ
たと思つています。三條別院は、越後における
念仏の中心道場でありました。阿弥陀様におあ
いしたい、親鸞様におあいしたいとの願いが、
多くの人々の足を別院に運ばせたのでありまし
よう。

私は、平成元年に行われた「三條別院本堂修
復・教区同朋会館 落慶法要」に掛役としてお
手伝いさせていただきました。行事や儀式に疎
かった私が、変わったきっかけになりました。
以来、各種研修や行事に参加させていただき、
別院は、私にとってお育ていただく道場であり
ます。

現在、三條別院は修復も終了し、旧御堂・書

院なども利用しやすくなりました。この環境を
利用し、多くの方々が集う念仏の中心道場であ
り続けることを願います。集う形は、時代と共
に変化するでしょう。六月に行われた「御坊市」
には七〇〇〇人あまりの人々が訪れたといいま
す。お寺に集うことは、御本尊に手を合わせる
ことになり、願いに眼が開ききっかけになると
考えます。現代社会は世代や家族間の断絶が顕
著になり、広い世界にバラバラの「個」が点在
しているような状況だと思います。しかし、私
達には先人の願いを相続し、後に受け渡す大切
な役割があります。時代が大きく変化しようと
も、人の心は変わらないと信じています。私は、
別院での実践が私の寺での実践につながると思
え、今日も三條別院に足を運んでいます。

第十六組浄専寺住職 堀川秀道氏

○次回の「三條別院に想う」は、

松原秀哉氏（第十七組慶應寺住職）より

ご執筆いただきます。

院 議 会 の 報 告

院議会在八月四日に開催され、池守章輪番の開
会挨拶の後、二〇一五年度の方針について説明が
なされた後、下記のとおり、全議案について全会
一致で可決されました。特記事項としては、教化
事業における新事業として清掃講（庭講）の結成
（次頁参照）、茶所講跡地および鐘楼堂横月極駐
車場等をはじめとした土地の総合的管理・活用の
構想を策定する、「土地有効活用検討委員会」の
設置が決定いたしました。

第一号 二〇一四年度三條別院教化事業報告

第二号 二〇一四年度三條別院経常部会計歳入歳出決算書

第三号 二〇一四年度三條別院教区同朋会館維持運営特別会計歳入歳出決算書

第四号 二〇一四年度三條別院不動産特別会計歳入歳出決算書

第五号 二〇一四年度三條別院報恩講会計歳入歳出決算書

第六号 二〇一四年度三條別院教区同朋会館宮積立金

第七号 二〇一四年度三條別院職員退職積立金

第八号 二〇一五年度三條別院教化事業計画（案）

第九号 二〇一五年度三條別院経常部会計歳入歳出予算（案）

第十号 二〇一五年度三條別院教区同朋会館維持運営特別会計歳入歳出予算（案）

第十一号 二〇一五年度三條別院不動産特別会計歳入歳出予算（案）

第十二号 二〇一五年度三條別院報恩講会計歳入歳出予算（案）

第十三号 真宗大谷派三條別院土地有効活用検討委員会の設置に
ついて

第十四号 三條教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌特別会計収入
支出決算書

支出決算書

清掃講（庭講）結成、講員求む！

三条別院の境内地の清掃および庭の整備を行う清掃講（庭講）を結成することとなりました。毎月十三日の定例法話会に併せたお講です。教区内御寺院におかれましては、ぜひ講員をご推薦いただきたいと存じますので、三条別院までご連絡ください。

◇日時 毎月十三日、午前九時～
（季節によって時間変更有り）

朝の人生講座・夏の御文拝読

本年も左記のとおり朝の人生講座・夏の御文を開催いたします。清々しい朝のひと時を仏法に触れながら三条別院で過してみませんか。



◇日時 八月二十日（木）～二十三日（日）

午前六時 晨朝 夏の御文拝読

午前六時三十分 人生講座

◇会場 三条別院本堂（同朋会館二階）

◇講師・講題

二十日 関崎智弥氏（第十八組 重蓮寺）

「あなたも大切、わたしも大切」

二十一日 池田 陽氏（第十八組 長周寺）

「世を厭うしるし 往生を願うしるし」

二十二日 草間あつ子氏（第十二組 勝覺寺）

「いのちからの願い」

二十三日 安富信哉氏（教学研究所長）

「聞思の生活」

◆人生講座終了後、簡単な朝食をお配りいたします。

宗祖御命日の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

【八月二十八日（金）】

午前十時 お勤め（御命日 日中

文類偈 行四句目下

念仏讃 洵五

和讃 回口 次第六

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

高田直来氏（第二十組 西養

◆今年度の御命日の集いは講師がであられた『教義抄』の言葉も紹介していただきます。

◇今後の講師一覧

九月 村山まみ氏（真宗学院第一期卒業生）

十月 朝倉奏氏（第二十組 金寶寺）

十一月 富岡教潤氏（第十八組 圓性寺）

十二月 田澤一明氏（第十九組 明誓寺）

定例法話会

毎月十三日の前門首のご命日（両度の命日）に行っている定例法話会を左記の通り開催します。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く
午後二時三十分より（二時間程度）

◇場所 三条別院 旧御堂

◇講師

八月 休会
九月～十二月 黒田真氏（第十一組 法蓮寺）



その他の講座案内

○別院声明教室（全五回）

（月一回、午後六時～八時）

八月二十日（木）、九月十七日（木）

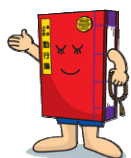
十月十四日（水）、十一月十九日（木）

十二月十七日（木）

講習内容 正信偈 草四句目下

講師 關根大丘氏（第二十組 松韻寺）

参加費 五〇〇円/回



○別院書道教室

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分〜八時〕
講師 木原光威氏（新潟県書道協会理事）
月謝 二五〇〇円（テキスト代含む）

随 時 募 集 中

○三条別院巡回

三条別院の御影をお迎えして、開法会を開催しませんか？

○別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代（昼・夕食は業者発注のため）

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

○別院特別参拝

皆様の御懇念により御修復が完了した本堂・諸殿をご案内いたします。

◎日程

・勤行（修復の完了した本堂にて同朋唱和）

・三条別院の歴史について

・諸殿拜観（修復箇所を中心に説明いたします）

本堂・旧御堂・書院・同朋会館・駒札

◎冥加金 金額は定めておりません。

◎その他 お土産に宗祖御遠忌を記念し「創業文政敦賀屋長吉 つるがや」さんによりつくられましたお菓子「越佐の国三条別院なむの里」を是非ご利用ください（事前注文必要）。

○三条別院有志の会

もともと三条別院のお朝事にお参りしているご門徒から

はじまった清掃奉仕・法話・座談を中心とした有志の会です。月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。参加希望の方は、ぜひ別院までご連絡ください。

同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、宿泊当日に同朋会館一階の事務所にございます宿泊者帳に記帳してください。その後、シーツクリーニンク代五〇〇円とシーツを交換させていただきます。

なお、宿泊される方は、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

◆◆編集後記◆◆

約一年三ヶ月の間、三条別院山門前にて立柱されていた宗祖御遠忌駒札が、去る七月十五日に門前より取り外されその役目を終えました。

およそ二年半に亘る三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要という大事業が無事に円成し終えた事を、取り外し作業にて静かにその姿を横たえる駒札から改めて実感させられ、何とも言えない気持ちになりました。

七月二十四日の御遠忌慰労会後の同月三十一日、駒札は旧御堂内部に移設され現在その姿を見る事ができます。



完成時には文字が鈍い金色に輝いていた駒札。一年以上風雨に晒され、職員の手によって毎日磨かれていた事により、輝きこそ減りましたが鎚起銅器本来のいい持ち味・風合いが少しずつ出てきました。

皆様にはぜひ来院された際に、駒札を眺めつつ御遠忌の思いを馳せていただきたいと思います。

〔松浦（寿）〕



7月2日に全戦争犠牲者追悼法会が行われ、戦後70年という節目の年であることもあり、多数の参詣者がありました。

第15組善性寺福田学氏より御指導いただき、立花を行いました（写真は中尊前の仏花）。

新年度を迎えるにあたり、将来的に花講を結成することも考え、立花講習会を計画しているところです。詳しくは今後紙面でご案内させていただきますので、ぜひご参加ください。